



- ●このクイックスタートガイドでは、プロジェクター(本機)の基本的な操作方法をコン ピューターとの接続を例にして説明しています。詳しい説明は、「使用説明書」をご参照ください。
- ●本機を使用する前に、「使用説明書」の冒頭に記載している"安全上の注意事項"を必ずお読みください。

※LV-7365/LV-7265/LV-7260は、日本国内向けモデルです。※本書のイラストはLV-7365のモデルを掲載しています。







本機に接続しているコンピューターの電源を入れ、 (INPUT) ボタンを2秒以上押す。





ノート型コンピューターの画面がうまく投写できない場合

ノート型コンピューターの外部出力(モニター出力)設定を外部に切り換えてくだ さい。

・Windowsの場合はファンクションキーを使います。

Fn キーを押したまま (_//□) などの絵表示や (LCD/VGA)の表示があるファ ンクションキーを押すと切り換わります。しばらく (プロジェクターが認識する 時間) すると投写されます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn + F4	HP
Fn + F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn + F7	SONY、IBM、HITACHI
Fn + F8	DELL、EPSON
Fn + F10	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの使用説明書をご参照ください。

●画面の端が切れている場合

コンピューターの画面を投写したときに、画面の端が切れていたり、映りが悪いときは、(AUTO PC) ボタンを押して自動調整を行ってください。





- 3 調整脚ロックボタンを押し たまま、本機の投写角度を 調整する。
- 4 角度を固定したいところで 調整脚ロックボタンから指 を離す。



〔台形ひずみ補正【オートキーストーン】 (LV-7365/LV-7265)〕

投写画面が台形にひずんでいないことを確認する。

LV-7365/LV-7265は、本体の上下の傾きを感知し、画面のひずみを自動で補正します。



画面の左右 (水平方向) がひずんでいるときは、レンズ面がスクリーンに平行になるよう に設置しなおします。

台形ひずみ補正【キーストーン調整】

 オンスクリーンメニューが表示 されていないときに、本体 の √/へ ボタンを押す。 調整バーが表示されます。







YT1-5345-001 7N8P8061 ©CANON INC. 2007

PRINTED IN CHINA